

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成25年7月豪雨における消防団等の災害出動)

名 称	栗原市消防団
所 在 地	宮城県栗原市
代 表 者	さかもと なお 団 長 坂 本 長 男
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、4日間延べ419名の団員が出動し、土砂崩れや河川の越水、道路冠水により交通が寸断される困難な状況下において、昼夜にわたり土嚢積み、シート張り等の水防工法やポンプによる排水作業といった水防活動を行い、住宅・水田への冠水被害を最小限に防ぎ、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	萩市消防団
所 在 地	山口県萩市
代 表 者	やまね かつよし 団 長 山 根 勝 美
功 績 の 概 要	同消防団は、平成25年7月豪雨災害に際し、14日間延べ507名の団員が出動し、1時間100mmを超える集中豪雨による堤防決壊や河川の越水で地域の大部分が濁流に没する困難な状況下において、住民の避難誘導、孤立した高齢者集落への飲料水・食料の運搬、一軒ずつ回った住民の安否確認等の人命救助活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	森上区自主防災会
所 在 地	新潟県長岡市
代 表 者	うめざわ せいいち 会 長 梅 沢 清 一
功 績 の 概 要	同自主防災会は、平成25年7月豪雨災害に際し、12名の会員が出動し、豪雨の降り続く危険な状況の下、大規模地すべりにより全壊した住宅に人が閉じ込められていることを発見、消防署に通報するとともに住民2名を救出し、残り1名もチェーンソーなどの救助資機材を持ち寄り消防隊員と一体となり救助し、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

団体 [防災思想の普及]

名 称	牛伏鉢伏友の会
所 在 地	長野県松本市
代 表 者	かとう てるかず 会 長 加 藤 輝 和
功 績 の 概 要	同会は、平成15年の発足以来、登録有形文化財に指定されていた砂防施設「牛伏川階段工」(平成24年7月 国の重要文化財に指定)周辺の草刈りや清掃などの維持管理、明治時代に造られた歴史的砂防施設の発掘・維持保全を行った。 整備された現地では、地元こども育成会による野外活動の実施や、市民対象の施設見学会を実施するなど、砂防施設に実際に触れる機会を積極的に創出し、地域住民への土砂災害防止意識の向上に大きく寄与するなど、防災思想の普及に多大な貢献をした。